

平成26年度第1回尾張旭市立小中学校通学区域審議会 会議録

- 1 開催日時
平成26年8月5日(火)
開会 午後 1時30分
閉会 午後 2時45分
- 2 開催場所
市役所2階 201会議室
- 3 出席委員
会長 青木 光枝
副会長 岡田 龍二
委員 大竹 良寿
委員 山田 俊樹
委員 濱地 香理
委員 安田 和香
委員 山本 真依子
委員 安藤 暁子
委員 塚本 榮
委員 森前 陽
委員 松原 裕子
- 4 欠席委員
委員 小杉 夏志登
委員 瀨瀨 陽次
- 5 参考人
水野 博文 (西中学校)
瀨瀨 陽子 (城山連合自治会)
- 6 傍聴者数
0名
- 7 出席した事務局職員
教育部長 長江 建二
教育行政課長 河村 晋
教育行政課長補佐 田島 祥三
教育行政課主査 小椋 和加子
- 8 議題等
 - (1) 会長及び副会長の選出について
 - (2) 教育委員会からの諮問について

9 会議の要旨

教育行政課長	定刻になりましたので、ただいまから、第1回尾張旭市立小中学校通学区区域審議会を開催いたします。会長・副会長を選出していただくまでの進行は、私が務めさせていただきます。進行につきましてはお手元の次第に沿って進めてまいります。
	それでは、次第の1、本市教育委員会部長より、あいさつをさせていただきます。
教育部長	(あいさつ)
教育行政課長	続きまして、次第の2、審議会委員の紹介については、委員一覧表の配布をもって紹介とさせていただきます。
	続きまして、次第の3、会長及び副会長の選出についてでございます。尾張旭市立小中学校通学区区域審議会条例第5条2項で、会長及び副会長の選出は、委員の互選により定めると規定されております。まず、会長から選出したいと思えます。どなたかご意見ございますでしょうか。
大竹委員	元白鳳小学校長であり、城山小学校地区も熟知されている青木先生を推薦します。
教育行政課長	ただいま、青木先生の推薦がございましたが、ほかにございませんか。特にご意見がないようであれば、皆様の拍手をもって、会長を青木先生にお願いしたいと思います。
	(委員全員拍手)
教育行政課長	それでは、青木先生、会長席へお願いいたします。続きまして、副会長の選出に入ります。尾張旭市立小中学校通学区区域審議会条例第5条2項で、同様に委員の互選により定めると規定されております。どなたかご意見等ございませんか。
会長	城山小学校の岡田先生を推薦したいと思います。
教育行政課長	ただいま、副会長に城山小学校の岡田先生の推薦がございました。ほかにございませんか。特にないようであれば、皆様の拍手をもって、副会長を岡田先生にお

	<p>願いたいと思います。</p> <p>(委員全員拍手)</p> <p>それでは、岡田先生、副会長席へお願いいたします。</p> <p>会長・副会長が決まりましたので、これより先の進行は、青木会長に願いたいと思います。</p>
会 長	(あいさつ)
教育行政課長	ありがとうございました。
会 長	<p>それでは、次第の４、教育委員会からの諮問について事務局から説明をお願いします。</p>
教 育 部 長	<p>平成２６年７月２４日開催の７月定例教育委員会において、旭前・城前特定土地区画整理事業の進展により実施されることとなった、町名設定に伴う通学区域の設定に関して、尾張旭市小中学校通学区域審議会に意見を求めることとなりましたので、会長に、諮問書をお渡ししたいと思いを。</p> <p><教育部長から青木会長へ諮問書を手渡し></p> <p><各委員へ諮問書の写しを配布></p>
会 長	<p>ただいま、諮問書をいただきましたので、次第の４、諮問内容の説明について、事務局から説明をお願いします。</p>
教育行政課長補佐	(諮問内容について資料に基づき説明)
会 長	<p>ただ今の説明について、ご質問、ご意見ありましたらお願いします。</p> <p>事務局の説明においては、今までどおりの通学区域を活かし現状維持ということですが、現在の子どもたちの様子から、この区域割りで良い点や課題など、ご意見ございますか。</p>
大 竹 委 員	<p>旭中学校では、現状、各学年ぎりぎりのクラス数でやっております。</p> <p>１年生を３階の教室にせざるを得ない状況ではあります。資料上の推計では、年々生徒数が増えていくようですが、学校側の計算では、私学へ通うお子さんもいるため、今後３年間ぐらいは現状のままいけるとは思っております。事務局の提案通りで影響はないと考えます。</p>

水野氏	西中学校も同様で、学校側の計算では、推計の人数から私学へ通うお子さんが抜けてこの資料に示されている人数より減るだろうと予測しています。ただ、現状、余裕が無い状況で、もし生徒数が増えた場合、この資料で案としている少人数教室を普通教室にすると、少人数指導ができなくなり、TT形式でやるしかないかなと思っておりますが、今のところは、そこまでは人数は増えないだろうと考えておりますので、現状通りの区域で良いかと思えます。
会長	中学校の現状が意見として出ました。小学校はいかがでしょうか。
山田委員	私自身旭前町に住んでいますが、白鳳小学校のほうが近いと感じています。距離的にはそう感じてはおりますが、昔ながらの地域性や児童数のことを考えますと、現状のままの通学区域が妥当かと思えます。白鳳小学校の教室数には問題ありません。
会長	今、白鳳小学校から距離的なことが意見として出ました。すぐそばに校舎がみえるのに反対の方向へ行かなくてはいけない、という思いはあると思いますが、このあたりは保護者のかたはどのようにお考えでしょうか。区画整理町名変更の区域にお住まいのかたはいらっしゃいますか。 (なしの声)
山田委員	昔ながらの部落的な集まりという繋がりだとか、そういった経緯を踏まえての区域だと思います。歴史的なこともあり、このままが妥当かなと思います。
副会長	城山小学校もさほど児童数は増えないと予想され、仮に増加が一クラス程度であれば、今の児童会室を普通教室へ転用可能と考えております。事務局にお聞きしたいのが、城山校区内で新しく開発が予定されている地域はあるのでしょうか。現在北のほうで少しずつ開発が進んでいるようですが、大きな開発計画はあるのでしょうか。
教育行政課長	実際のところ、城山・白鳳校区については、これ以上大きな開発というのは、土地の形状などいろいろな要素を考えても、おそらく無いだろうと思っております。現在、同様の区画整理については、旭丘小・東栄

	<p>小区域の北原山という地域でやっており、尾張旭市の区画整理については、これでほぼ終わります。城山小学校については、平子の東側、処分場の跡地などで土地が残っているところはありますが、今のところ開発されるということではないと思っております。また、児童数としては、今少子化に向かってはおりますが、尾張旭市の現状として、あまり減ってきてはいません。0歳児からの人数をつかんでおりますので、転出などがなければ、児童数はさほど減らないだろうと考えております。なおかつ、市の全体の施策としては、魅力ある市として、若い世代が移り住めるような方針をとっておりますので、急激に人数が減るということは考えにくいと思います。ただ、全国的には少子化で緩やかに減少傾向がありますので、先ほど各小中学校から、現状、ぎりぎりでやっておりこれ以上増えると大変だというお声もありましたが、今後については、あまり心配はいらないだろうと思っております。ただ、現在は35人学級が小学校1・2年生と中学校1年生、その他は40人学級でやっておりますが、例えば、1・2年生が30人学級で、その他が35人学級など、クラスの編成状況が変われば、状況も若干変わってくると思います。それでも、尾張旭市の状況を考えますと、すべての学年で学級数が増えるという計算にはならないと考えております。現在でも、40人学級といっても平均的に35、6人程度のクラスもあり比較的均衡のとれた配置がされていると思います。</p>
会 長	<p>地域の実態をよくご存じの自治会の方々はどうお考えですか。</p>
塚 本 委 員	<p>旭前町が一丁目から六丁目までとなりますが、6月議会が始まる前から協議があるところですが、私自身も、行政課や教育委員会、市民活動課へ足を運び、このことについて何度も話をさせていただいた。例えば桜ヶ丘町三丁目の隣に松ヶ丘という町内がありまして、旭前区画整理が始まることを聞いたのが少し遅かったこともありますが、ここが谷間になってしまい、このところを何とかできないかということで、町内会長や自治会長が話をもってきました。桜ヶ丘町三丁目の隣にあるので桜ヶ</p>

	<p>丘町の四丁目にならないかという人と、旭前町のほうがいいという人と、 いろいろな意見があると聞きました。それなら一度、アンケートを取りな さいという提案をして、当初63パーセントくらいが旭前町か桜ヶ丘町 どちらかの町名になる方向で考えたらどうだろう、という結果となった。 ちょうど3月議会の時期だったので市会議員に相談したところ、6月議 会にかけるのであれば90パーセント以上の賛成が無いと市のほうは なかなか動かないとお聞きしたので、その後10日間くらいで、この松 ヶ丘の町内で93パーセントの賛成を得ました。ところが、今度は旭前 町がいいのか、桜ヶ丘町がいいのかという議論になった。校区割でいく と白鳳校区になる。何丁目になるかという割り振り方については、市役 所を中心に一丁目から左回り、つまり時計と反対まわりに割り振ると聞 いた。ところが、いざ蓋を開けてみたら五丁目は右下、六丁目だけが、 上へずれている。なぜここが、例えば三丁目にならなかったのか、ここ が三丁目になると当然五丁目のところが六丁目になる。そういう話が松 ヶ丘の町内でもあり、自治会がどうこう言うわけにはいかないので、住 んでいる人の意見で進めないとうしようもない。松ヶ丘で自治会に入 っているのが140世帯くらい。町内として、もともと古い地域であり、 桜ヶ丘一带は区画整理が2回行われている。昭和58年とその10年後 くらいだったと思うが、20年くらいずつかかって、整理が行われてお りますが、その中でも早くにこの地域に越してこられたかたは、市のキ ャッチフレーズで下水道がすぐ完備しますよという話があったにもか かわらず40年ほどもほったらかしだったと、かなり憤慨してみえまし た。すぐ上に桜ヶ丘という町内がありますが、分譲住宅約80世帯につ いて一番早く下水道が通るといったことがあり、下水道工事がどのよう に行われているかわかりませんが、こういった経緯も含め、かなり強い 意見が出ています。校長先生など学校関係者にもいろいろお聞きし白鳳 校区・城山校区のそれぞれの校区割の中に、去年の3月までの小学生の 中で、正式には白鳳校区にはなるが、地域割りで見ると城山校区である</p>
--	--

	<p>子がいる。子どもが犠牲になった区割りになっており、市長にも話をし、結果的にはこのような形となった。</p> <p>はっきりと線引きがなされたところで、旭前町三丁目四丁目の人たちが、白鳳校区で本当にいいのか、ということについては、小学校へ通っているお子さんの保護者側からすれば、白鳳小学校のほうが近く、城山小学校へ通おうとすると、3倍くらい遠くなってしまい、小学校一年生の子にその距離を歩かせるのは酷で、大人のエゴだけの話になってしまうのではないか、といった話し合いも随分しました。当時18人の児童が白鳳小学校へ通っており、現在の人数は分かりませんが、やはり子どもを犠牲にしてはいけない、ということが第一条件で地元の人に説明をして、松ヶ丘は特に高齢者が多い町内ではありますが、これからの若い世代も将来的なことを考えていかないといけないという、切羽詰まった話をし、93から95パーセントくらいの賛成を得たとも聞いた。結果的にはこのような町名設定にはなりましたが、中には旭前町六丁目というところに違和感がある人もいます。市ではこのあたりのことを、どのように受け止めているのかということが一点と、現在旭前町三丁目と四丁目が白鳳校区でいいよという賛成が得られるような説明ができるのかできないのか、教育委員会でどのようにお考えかを伺いたい。</p>
会 長	<p>前の区画整理のときに、どちらの小学校に通ってもよいとなった地域のことをおっしゃっているのだと思いますが、今現在の在校生で、旭前町三丁目、四丁目に住んでいて、まだ城山小に通っているだとか、旭前町二丁目、五丁目に住んでいて白鳳小に通っているという子どもは残っているのでしょうか。ずいぶん前の話だとは思いますが。</p>
教育行政課長補佐	<p>旭前町西新田が城山・白鳳どちらの小学校でも選べる時期がありました。昭和59年までのことです。それ以降については、西新田は白鳳小学校区となりました。今現在は、新しい字名で言うと旭前町六丁目、三丁目、四丁目は白鳳小学校区となっています。ただ、理由がある場合は、実際の校区ではない学校へ通う指定校変更の制度もございます。例えば、</p>

	引越しにより校区が変わってしまうが、もともと在籍していた学校に引き続き通いたいといった場合は許可を出しておりますので、この地域においても人数としては0ではありませんが、ほとんどいらっしやらない状況です。
会 長	先ほどのご意見にもありましたように、歴史の中で、自由校区にする と子どもが迷ってしまったり、子ども会のこととか校区の運動会のこと とか、西新田の方はつらい思いをなさった時期もあったようです。今回 のこの校区割の案は、はっきりとした線引きがされていると思います。 町名と字と校区割がわかりやすいかなと思います。瀬瀬委員はどのよう にお考えですか。
瀬 瀬 氏	城山連合自治会は、城山校区内ではありますが、西新田については、 子どもたちは白鳳小や西中に通う、という状況です。西新田のかたは、 城山連合自治会に入らないといけませんから、自治会費は城山に収めな がら、子どもたちは白鳳にお世話になっているという、ここに住んでい らっしやるかたにとっては心境的にすごく複雑でしょうし、校区の運動 会でも、松ヶ丘は白鳳校区に入りましたので地区ごとの場所が用意され ていますけれども、西新田のかたは、白鳳側の運動会へ行っても西新田 という場所がありませんし、かといって城山側へ行っても顔なじみのか たもいません。どちらにも行きにくいという状況があります。このよう なことから、私たちも、ご高齢のかたを説得し、白鳳連合自治会のほう へ加入してもらったほうがいいのかもしいかなとも思っております。若 い世代のかたは、白鳳連合自治会に入ってもいいですとおっしゃられま すが、ご高齢のかたは、シニアクラブだとか地域のつながりがあり、今 まで城山のシニアクラブに入っていたかたはその補助金だとかがあり、 校区が白鳳に変わったからシニアクラブも白鳳に入れてもらおうか、と はなかなかいかない。過去において、自由校区の時期か白鳳校区と決ま るくらいの時期に、白鳳の連合に入れてもらえませんかというお話を町 内会でしたことがあります。その当時は昔からお住まいのお年寄りも

	<p>多かったものですから、それこそ無理なお話で、なかなか一筋縄ではいきませんでした。今後自治会長も若い世代になっていきますが、学校は白鳳、自治会は城山といった部分で悩まないといけない状況が続くとすると、自治会の運営上もそうですが、何よりも子どもたちが大変だと思いますので、きちんとした線引きは必要だと思います。自治会のことでするので、自治で決めるのが筋だとは思いますが、ある程度の道筋を市側でたてていただくと、自治会も動きやすくなるのではないかと思います。</p>
会 長	<p>自治会は、通学区域とは別に、名前だとか区域にいろいろむずかしい問題を抱えていらっしゃるって、かなり大変だと思います。地元では、通学区域以外にもいろいろ問題を抱えているということも挙げていただきました。では、保護者の方々からのご意見を伺いたいと思いますが、今の子どもたちの様子や学校の規模をご覧になっていて、事務局の提案の通学区域はいかがでしょうか。</p>
安 藤 委 員	<p>現在子どもを小学校へ通わせている世代からすると、教室数などを見ても、今の学区で特に問題が無いと思います。</p>
山 本 委 員	<p>城山小学校は、人数も多く遠くから通っている子もいて大変だなという印象がありましたが、学校規模や教室数などから考えて、今の区域となっていると納得しました。しかし、このような情報が無い保護者にとっては、「なぜこんなにも遠くの学校まで子どもを歩かせないといけないのか」と疑問に持つかたもいるので、特に規模が大きな学校は、保護者に対して通学区域に関し説明があると、少しは納得して子どもを通わせられるのではないかと思います。校区をまたいで自治会に入っている地域については難しい問題だなと思いました。</p>
	<p>それから、事務局に質問ですが、現住所が変わった際、小学校については越境通学ができるけれど、中学校はできないと聞いたのですが、中学校も大丈夫なのでしょうか。</p>
教育行政課長	<p>小学校も中学校も制度は同じです。特別な事由がある場合は、小学校でも中学校でも認められます。最終学年になると、学期末・年度末まで、</p>

	違う区域の学校へ行けるということになりますが、基本的に小学校で認められて中学校では認められない、ということではなく、認められるかどうかは、そのご世帯の事由によります。
会 長	中学校の保護者のかたはいかがでしょうか。
安 田 委 員	子どもたちを見ている限り、校区に問題があるようには見えなかったのですが、自治会に入っていない地域もあると聞いています。複雑な面が多くあると感じました。若い世代については、以前からの問題点やいきさつを知らないことが多いので、いろいろな面で整理をしていくのであれば、分かりやすく子どもたちが困らない環境を考えてほしいと思います。
濱 地 委 員	本地に住んでいる子が、遠く旭中まで、自転車通学をしており、雨の日は大変だということも聞いています。本地のあたりには中学校が無いので、保護者も子どもも大変だと思います。
会 長	公募の委員の方々に、何かご意見はございませんか。
森 前 委 員	現状通りで良いと思います。
松 原 委 員	道による境界線もきれいになっており、現状通りで良いと思います。
会 長	区画整理は行われましたが、道が従来のまま残っていたので、学校を変わらないといけない子どもが出てくるだとか、そういったことはありませんでした。今回で基本線ができてきたと思いますので、次回で答申をするということによろしいでしょうか。
	(異議なしの声)
会 長	では答申の方法を事務局から説明をお願いします。
教育行政課長	(答申方法について説明)
会 長	では、次第5その他について、事務局からお願いします。
教育行政課長	(今後の日程等について説明)
塚 本 委 員	旭前町三丁目・四丁目などの地域に住んでみえるかたへ、学区に関して、事前説明などは予定がありますか。
教育行政課長	学区としての特別な説明については、学校を通じて、特段の変更が無

	<p>い旨を通知する予定です。地域のかたを集めて説明会を開くといったようなことは、逆に混乱を招く恐れがあるため、特に予定をしておりません。区域の線引きで、旭前町二丁目・五丁目と、三丁目・四丁目の間に線が入っておりますが、これは学区を考慮していただいた経緯があると聞いています。ここで線が入っていない、例えば旭前町四丁目・五丁目が入りのくくりだとすると、学区については今までのような「旭前町四丁目の一部」などとなってしまいます。もう少し分かりやすくという観点から、このような形になっております。また自治会については、印場ではなく城前・旭前という区域で昔から考えられているので、町名としては旭前町となったと聞いております。松ヶ丘については、当初の段階では区画整理区域外ということである程度話が進んでいた中で、この地域が後から付け加えられた結果、六丁目となったとも聞いております。</p>
塚本委員	<p>自治会の立場からすると、旭前町三丁目・四丁目のかたが、必ずしも白鳳連合自治会のほうへ加入してもらえとは限らず、城山・白鳳連合自治会と調整しないといけないと思っています。市が進める方向に、自治会も進んでいけるとは限らないので、まずは、地域の説明会をどのあたりで行うのか、それを見極めたうえで、連合自治会と話をしていきたい。</p>
教育行政課長	<p>連合自治会としてのお話かと思います。教育委員会としては、現行と変わらない学区を、この場でご提案しているところでございます。連合自治会をどうするか、ということについては、市の市民活動課へお話をさせていただきます。学区は学区として、特に現行と変更がなく、大きな支障が出るということではないと思っておりますので、特別に説明会を開催する予定はありません。</p>
会長	<p>今回は、通学区域としては基本路線がほぼできたかと思います。それとはまた別で、自治会として話し合いの場をもつていただき、しこりが残らないようにしていただきたいと思います。</p> <p>そのほかございませんでしょうか。</p>

